

第33回大阪市立大学緩和医療研究会

市大病院における歯科・口腔外科

昨年10月歯科・口腔外科が開設されました。緩和ケア領域のみならずいろんな場面で専門的な口腔ケアを受けることは患者さんにとっても大きなメリットになります。適切な口腔ケアが合併症の減少、QOLの改善だけでなく在院日数短縮にもつながる、という報告もみられます。

市大病院における歯科・口腔外科の役割、またビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死のことなども含めてお話いただきます。皆さまの参加をお待ちしております。

日時：2016年10月19日（水） 17：30～18：30

場所：大阪市立大学医学部附属病院 5階 講堂

対象：医療従事者

【講演】17：30～18：30

座長 大阪市立大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

チームリーダー 中尾 吉孝 先生

演者 大阪市立大学大学院医学研究科

病態診断・生体機能管理医学講座 歯科・口腔外科学

准教授 中原 寛和 先生

共催

大阪市立大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

大阪市立大学大学院医学研究科 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン運営委員会

ホームページ <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ganpro>